

## 平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス

 コード番号 4928 URL <http://www.noevirholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 羽生 光嘉 (TEL) 078-303-5121

四半期報告書提出予定日 平成29年5月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績 (平成28年10月1日～平成29年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	26,715	7.2	4,711	26.8	4,874	32.7	2,044	64.1
28年9月期第2四半期	24,926	5.5	3,716	4.3	3,673	△6.4	1,245	△16.9

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 2,528百万円(99.7%) 28年9月期第2四半期 1,266百万円(△29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	57.67	—
28年9月期第2四半期	35.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	89,233	54,182	60.5
28年9月期	89,709	55,908	62.2

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 54,016百万円 28年9月期 55,783百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	120.00	120.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想 (平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	1.6	8,500	10.3	8,700	11.1	5,800	14.9	163.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	35,451,653株	28年9月期	35,451,653株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	30株	28年9月期	30株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	35,451,623株	28年9月期2Q	35,451,633株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成29年3月31日まで）

	前第2四半期		当第2四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	24,926	100.0	26,715	100.0	1,788	7.2
化粧品事業	18,256	73.2	19,478	72.9	1,221	6.7
医薬・食品事業	5,846	23.5	6,273	23.5	427	7.3
その他の事業	823	3.3	962	3.6	139	16.9

	前第2四半期		当第2四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	3,716	14.9	4,711	17.6	994	26.8
経常利益	3,673	14.7	4,874	18.2	1,200	32.7
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,245	5.0	2,044	7.7	798	64.1

当第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成29年3月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより緩やかな回復基調を続けているものの、急激な為替相場の変動や海外経済の不確実性が高まり、景気の動向は不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業を展開する国内外の市場においては、消費者の多様な潜在需要が見込まれます。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,715百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は4,711百万円（同26.8%増）、経常利益は4,874百万円（同32.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,044百万円（同64.1%増）となりました。

化粧品事業の売上高は19,478百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は5,453百万円（同12.4%増）となりました。カウンセリング化粧品の売上は、プラセンタ高濃度配合のエイジングケア美容液や高級基礎化粧品シリーズが新しい需要を喚起したことにより前年を上回りました。セルフ化粧品の売上は、新商品及び既存シリーズが幅広い顧客層の支持を得て好調に推移しました。

医薬・食品事業の売上高は6,273百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は246百万円（前年同期のセグメント損失は121百万円）となりました。医薬品の売上は、前年を上回りました。食品の売上は、好調に推移しました。

その他の事業の売上高は962百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は60百万円（前年同期のセグメント損失は86百万円）となりました。アパレル・ボディファッション関連の売上は、前年を下回りました。航空関連の売上は、前年を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ476百万円減少し、89,233百万円となりました。主に、有形固定資産が743百万円減少したことと、現金及び預金が251百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,249百万円増加し、35,050百万円となりました。主に、未払法人税等が768百万円、支払手形及び買掛金が428百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,726百万円減少し、54,182百万円となりました。主に、前期末配当4,254百万円による減少と、親会社株主に帰属する四半期純利益2,044百万円により、利益剰余金が2,209百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は60.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末の37,895百万円に比べ243百万円増加し、38,139百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は4,464百万円(前年同期比1,424百万円の収入増)となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益4,884百万円、減価償却費816百万円と、減少要因としては、法人税等の支払及び還付1,429百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は28百万円(前年同期比219百万円の支出減)となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出274百万円、投資有価証券の取得による支出90百万円と、増加要因としては、有形固定資産の売却による収入352百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は4,309百万円(前年同期比734百万円の支出増)となりました。これは、主に、配当金の支払4,250百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月8日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,959	38,210
受取手形及び売掛金	10,880	10,902
商品及び製品	5,787	5,975
仕掛品	110	114
原材料及び貯蔵品	1,319	1,288
繰延税金資産	807	852
未収入金	3,088	2,461
その他	627	500
貸倒引当金	△28	△21
流動資産合計	60,552	60,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,672	4,503
機械装置及び運搬具（純額）	3,711	3,423
土地	13,832	13,446
リース資産（純額）	1,551	1,494
建設仮勘定	210	370
その他（純額）	219	216
有形固定資産合計	24,198	23,455
無形固定資産		
のれん	94	71
ソフトウェア	143	128
その他	90	98
無形固定資産合計	328	298
投資その他の資産		
投資有価証券	1,641	1,943
退職給付に係る資産	—	235
繰延税金資産	1,855	1,801
その他	1,171	1,254
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	4,629	5,193
固定資産合計	29,157	28,948
資産合計	89,709	89,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,570	5,998
リース債務	117	116
未払金	3,407	3,694
未払法人税等	1,425	2,193
賞与引当金	65	83
返品調整引当金	375	388
その他	959	949
流動負債合計	11,921	13,424
固定負債		
リース債務	1,557	1,497
長期預り保証金	14,827	14,562
繰延税金負債	264	339
退職給付に係る負債	5,093	5,092
その他	136	134
固定負債合計	21,880	21,626
負債合計	33,801	35,050
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	48,420	46,210
自己株式	△0	△0
株主資本合計	55,739	53,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	453	600
為替換算調整勘定	△292	△126
退職給付に係る調整累計額	△116	12
その他の包括利益累計額合計	44	487
非支配株主持分	125	165
純資産合計	55,908	54,182
負債純資産合計	89,709	89,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	24,926	26,715
売上原価	8,711	9,298
売上総利益	16,214	17,416
販売費及び一般管理費	12,498	12,705
営業利益	3,716	4,711
営業外収益		
受取利息	9	3
受取配当金	5	5
為替差益	—	19
受取賃貸料	36	7
受取和解金	—	84
その他	52	45
営業外収益合計	103	164
営業外費用		
支払利息	1	—
為替差損	142	—
その他	1	1
営業外費用合計	146	1
経常利益	3,673	4,874
特別利益		
固定資産売却益	0	175
退職給付制度改定益	—	37
特別利益合計	0	212
特別損失		
固定資産除売却損	3	2
減損損失	—	199
特別損失合計	3	202
税金等調整前四半期純利益	3,670	4,884
法人税、住民税及び事業税	2,346	2,844
法人税等調整額	53	△35
法人税等合計	2,399	2,809
四半期純利益	1,271	2,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,245	2,044



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	1,271	2,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	147
為替換算調整勘定	△89	176
退職給付に係る調整額	74	129
その他の包括利益合計	△5	453
四半期包括利益	1,266	2,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251	2,487
非支配株主に係る四半期包括利益	14	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,670	4,884
減価償却費	774	816
減損損失	—	199
のれん償却額	22	22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	16
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△17	13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26	—
退職給付に係る資産負債の増減額(△は減少)	—	△199
受取利息及び受取配当金	△14	△8
支払利息	1	—
為替差損益(△は益)	133	△6
固定資産除売却損益(△は益)	3	△172
退職給付制度改定益	—	△37
売上債権の増減額(△は増加)	1,050	22
たな卸資産の増減額(△は増加)	△709	△111
仕入債務の増減額(△は減少)	670	417
預り保証金の増減額(△は減少)	△269	△265
その他	△270	303
小計	5,065	5,886
利息及び配当金の受取額	10	8
利息の支払額	△1	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,035	△1,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,039	4,464
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△51	△38
定期預金の払戻による収入	651	38
有価証券の取得による支出	△9,996	—
有価証券の償還による収入	10,000	—
投資有価証券の取得による支出	△270	△90
有形固定資産の取得による支出	△552	△274
有形固定資産の売却による収入	0	352
無形固定資産の取得による支出	△30	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248	△28
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△3,538	△4,250
その他	△36	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,575	△4,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83	117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△867	243
現金及び現金同等物の期首残高	37,139	37,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,271	38,139

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	18,256	5,846	823	24,926	—	24,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	86	86	△86	—
計	18,256	5,846	909	25,012	△86	24,926
セグメント利益又は損失(△)	4,852	△121	△86	4,644	△928	3,716

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△928百万円の内訳は、セグメント間取引消去331百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,259百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	19,478	6,273	962	26,715	—	26,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	85	85	△85	—
計	19,478	6,273	1,047	26,800	△85	26,715
セグメント利益	5,453	246	60	5,761	△1,050	4,711

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,050百万円の内訳は、セグメント間取引消去217百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,267百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化粧品事業」及び「医薬・食品事業」において、売却することとなった施設の土地・建物等について、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「化粧品事業」189百万円、「医薬・食品事業」10百万円であります。